碧南民報 サンデー版

2022年2月20日
NO.2126
日本共産党碧南市委員会
碧南市笹山町3-13-10
電話・FAX/42-8706

身近かに役立つ
日本共産党生活相談所
山口はるみ 電話 42-8940 FAX 41-9904
岡本　守正 電話 41-5357 FAX 46-1595
磯貝　明彦 電話・FAX　48-2718

3月議会

2022年度予算案を発表

コロナ禍のくらし、気候危機打開、福祉、教育・・独自の施策は?

「国待ち」「そこそこ施策」では！

新年度予算審査が中心の3月議会が始まります。ねぎた市長4期目の施策が問われています。市民の世論に押されて、日本共産党の掲げた公約の実現も盛り込まれています。しかし、18歳までの医療費無料化も入院費のみ。国が、国保加入者の小学就学前の子どもの均等割を半額にしますが、市の上乗せはやりません。

小人数学級も、小学4年生まで35人学級が実現しますが、国県制度で、他市がやっている、小学5・6年と中学2・3年は取り残されています。

喫茶店もない市内の駅前

碧南駅は、待合所や駅前道路を新設しますが、北新川、新川町、まちの中心の中央駅周辺はさびれっぱなし喫茶店も売店もない状態です。1等地栄町の公共用地は銀行に売ってしまう。北新川はトイレも公共駐車場や公共駐輪場もなし・・・こうしたまちづくりが失敗しています。

もっと市民に寄り添う温かい市政が今ほど求められているときはありません。

1日192人のコロナ感染!!

2月16日の新聞には、碧南市で192人の新たなコロナ感染者数が示されました。それでもスギ薬局の無料PCR検査は中止となってしまいました。

市独自の、コロナ第6波の独自戦略はあるのでしょうか。今後の第7波対策も国や県と同じく、なりゆき任せとなっています。

頑張っているほうですが、18歳以下の三回目ワクチン接種数は県が12%、市は16%となっています。

検査とワクチン接種の加速が求められます。市民病院を持つ自治体として、今こそ医療と保健の体制強化を検討できるのではないでしょうか。

ふるさと寄附は30億円見込む

新年度予算には、ふるさと応援寄附を30億円見込んでいます。個人市民税は総額約46億円で2億円増。法人市民税は約15億円で約10億円近く増えると見込んでいます。

歳入全体では169億円で15億円の増額予算案となっています。

SDGSはシール張りだけ

「持続可能な社会」をめざすSDGSは、従来施策に項目シールを掲載することをせっせとやっています。しかし、CO2削減は、個人62件と事業者19件の電気自家用車等に総額900万円補助を他市に沿って行います。くるくるバスや公用車の電気自動車化や太陽光発電による充電方式など本気の構えが必要です。

試金石　石炭火力発電所の廃止

日本最大の温暖化物質排出源の石炭火力発電所のある自治体首長として、廃止の声をあげられるかが。気候危機打開と温暖化防止への本気度を測る試金石です。

日本共産党はくらしと地球守る

日本共産党は、3月議会でコロナ対策、気候危機打開、新自由主義から脱却の立場から具体的な対案と公約実現にがんばります。

3月議会の日程

月　日	時間	内容	
2月15日㈫	午前10～	議会運営委員会	
2月17日㈭	〃	予算説明会	
2月22日㈫	〃	本会議①	議案上程
2月24日㈭	～午後2時	総括質疑〆切	
3月4日㈮	午前10～	本会議②	総括質疑
3月7日㈪	〃	本会議③	総括質疑
3月8日㈫	〃	本会議④	総括質疑
3月9日㈬	〃	総務文教委員会	議案審査
3月10日㈭	〃	福祉健康委員会	〃
3月11日㈮	〃	経済建設委員会	請願審査など
3月15日㈫	〃	総務文教分科会	予算審査
3月16日㈬	〃	福祉健康分科会	〃
3月17日㈭	〃	経済建設分科会	〃
3月25日㈮	〃	本会議⑤	採決

3回目のワクチン接種状況　（人）

発送済券	2021.12.20現	1,591
	2022.1.17	5,787
	2022.2.1	10,157
	2022.2.15	5,223
	合　計	22,758
3回目接種済み		9,441
接種券発送済比　%		41
18歳以上人数		60,596
18歳以上比　%		16

日本共産党に投書

介護保険の負担金ですが、国民年金だけの所得90万円の者は約6万円（6.5%）を払っています。年1000万円の者は、金額は多いが割合は非常に少なくなっています。国民年金だけの者は健康保険と合わせると11万円（10%以上）納さめており生活は大変苦しいのです。介護保険等高額所得者から割合も多く取るなど改善をお願いします。

※本当ですね。改善求めがんばります。

ウクライナ問題

ロシアは軍事威嚇をやめよ――国際社会は外交的解決に力をつく

志位委員長が談話

日本共産党の志位和夫委員長は12日、ウクライナ問題についての談話「ロシアは軍事威嚇をやめよ―国際社会は外交的解決に力をつくせ」を発表しました。談話は関係国にも送付しました。談話全文は次のとおりです。

10万の大軍で威嚇許さぬ

一、ロシアが隣国ウクライナとの国境沿いに10万以上と見られる大軍を展開し、さらに隣国ベラルーシで合同軍事演習を開始するなど、国際的な緊張が高まっている。ロシアはNATO（北大西洋条約機構）の東方拡大の中止を求めているが、それはこうした行動を正当化する理由にはならない。自国領土内であっても、明白な軍事圧力である。ロシアはこのような軍事力による威嚇をただちに止めるべきである。

ウクライナの主権尊重を

一、軍事的緊張の一方で、現在、関係諸国が事態打開のために、多角的外交交渉を行っている。国際社会が、危機を増幅させる軍事的対応ではなく、紛争の平和的解決を定めた国連憲章と国際法に基づき、ウクライナの主権尊重の原則に立って、外交的政治的な事態打開の努力を尽くすことが強く求められている。日本政府は、この立場にたって、国際社会に働きかけるべきである。

気候危機打開へ学習会　2030年まであと8年　さよなら原発・石炭火力発電所

再生エネ・省エネへの道

JERA碧南石炭火力発電所

2月26日（土）

午後2時～4時　参加費：無料

場所：碧南市役所レストラン2階

（碧南市松本町２８・電話　0566-41-3311）

2021年11月のCOP26では46ヵ国が石炭火力発電所の新設中止や廃止を求める「宣言」に賛同しました。一方、日本政府は「化石賞」の汚名を。

若者の未来を守るためにも2030年までの温暖化防止対策が地球を守る緊急課題です。みんなで学び国県市に求めることや、市民でできることを進めましょう。ぜひこの機会にご参加ください。

お話します

◎大野克良　NPO愛知地域資源ネットワーク理事
おひさま自然エネルギー㈱取締役
愛知金融革新懇事務室長

◎山口はるみ　日本共産党碧南市議会議員
「気候危機打開２０３０戦略」
碧南石炭火力発電所の現状

◎公共施設屋根貸し太陽光発電などの業者
太陽光発電の現況

◎自由発言　事前に資料などあったらご連絡ください

本当に石炭火力発電なくせるの？
太陽光発電ってうちにも可能？
売電価格が安いのでは？
気候危機打開の決め手は？
2030年までの未来への選択は？

♫　心優しい　科学の子　10万馬力だ

主催：温暖化から地球を守る会　通称「アトムの会」　連絡先　磯貝明彦　碧南市若松町３－２５３　電話　090-7867-0634

日本共産党碧南市委員会

市議会議員	市議会議員	市民運動部長
山口はるみ	岡本守正	磯貝明彦
☎42-8940	☎41-5357	☎48-2718
三度山町 2-70-4	笹山町 6-29	若松町 3-253

戦争法廃止
改憲許すな19行動

3月19日（土曜日）

午前11時～12時

今こそ

ピアゴ碧南東店

東浦町6－17（日進小学校南）

日本共産党碧南市会議員団のホームページをごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案

○新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治

○憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する

○権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換

○地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる

○ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし個人の尊厳を尊重する政治